

第 1 章 鳥取市の概要

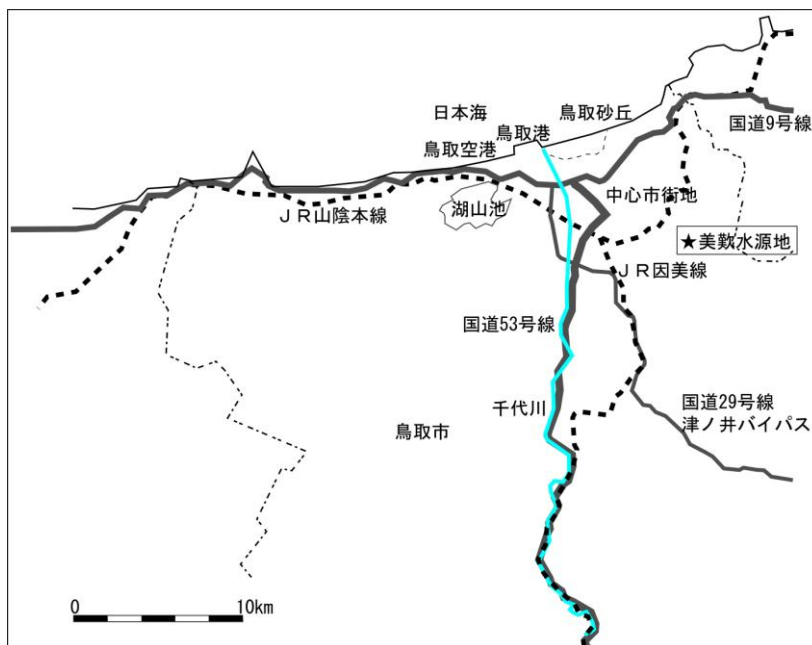
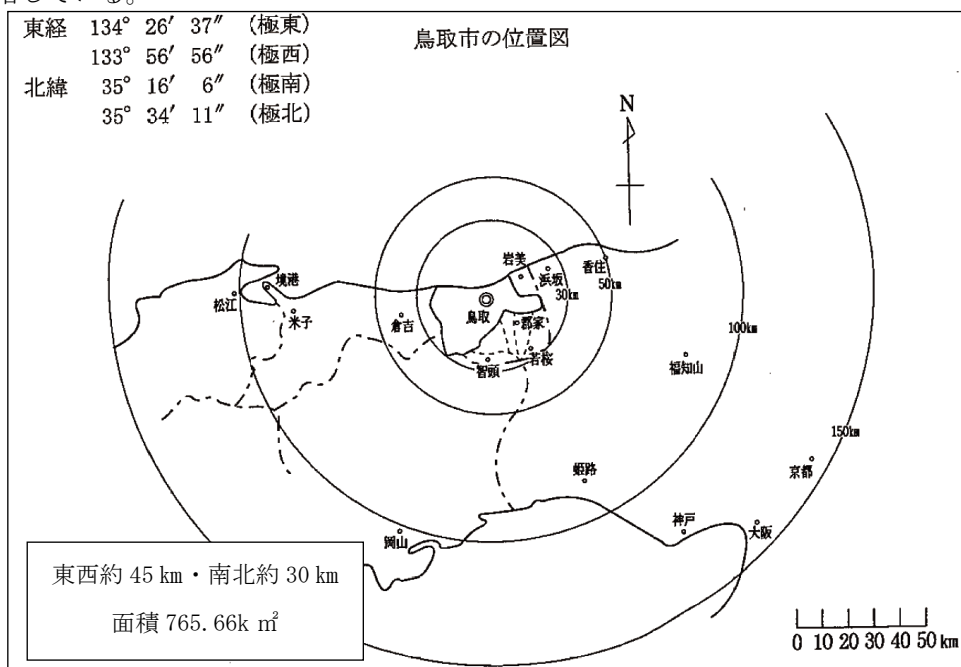
1. 鳥取市の概要

日本海に面し、日本一の鳥取砂丘を有する「鳥取市」は、中国山地から日本海へ北流する千代川流域にひらけた鳥取平野の東部に、古くに城下町として生まれ、江戸時代は、鳥取藩池田家 32 万石の城下町として栄えた。明治 22 年 10 月 1 日市制を施行し、以来県都として、また、山陰地方東部の中核都市として、政治、経済、文化の中心となり発展してきた。

大正時代の千代川の度重なる氾濫、昭和 18 年の鳥取大地震、昭和 27 年の鳥取大火など幾度となく大災害に見舞われたが、その都度粘り強い市民の精神力と努力により立ち直ってきた。

人口は、市制施行後順調に増え続け、平成 16 年、鳥取県東部の 6 町 2 村との市町村合併により、山陰地方で初めて 20 万人都市となり、さらに平成 17 年 10 月 1 日には、特例市となった。

第 8 次鳥取市総合計画を策定し、まちづくりの目標である「人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取」をスローガンに、山陰の発展をリードする中核都市の実現に向かってさらなる発展を目指している。



鳥取市広域交通図

◇上位計画一覧

計画名称	策定年月日	策定主体	計画範囲
第8次鳥取市総合計画	平成18年	鳥取市	鳥取市
鳥取都市計画区域 マスタープラン	平成18年	鳥取県	鳥取県 鳥取市
鳥取市都市計画マスタープラン	平成18年	鳥取市	鳥取市域内の 「都市計画区域」

◇鳥取市概要一覧

位置	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取市は、中国地方の北東部、鳥取県東部に位置し、鳥取県の約22%を占める山陰最大都市で、同県の県庁所在地。鳥取平野を中心に市街地を展開する山陰唯一の特例市で、鳥取都市圏を形成。 北は日本海に面し、東は岩美町および一部兵庫県、西は東伯郡湯梨浜町および三朝町、南は八頭郡八頭町、智頭町および一部岡山県と接している。 岡山、姫路からは100km、神戸、大阪、京都からは150kmの圏域にある。
地形・自然	<ul style="list-style-type: none"> 南北を貫流する千代川により形成された鳥取平野と、鳥取砂丘（日本一の大砂丘・国天然記念物・国立公園）、白兔海岸、湖山池（面積日本一）、久松山（標高263m）、標高1000mを越える山地などに囲まれ、豊かな自然に恵まれている。 標高400～500mあたりまで、タブノキ、スダジイ、シラカシなどの照葉樹林が見られるが、大半が、住宅地、農林業地として利用され、自然林はわずかに残されている程度である。 標高500m以上は、大半がスギ、ヒノキの植林地やアカマツ、クヌギ、コナラなどの二次林。
気候	<ul style="list-style-type: none"> 年間平均気温15.0度、年間降水量は1,625mm（平成18年）。 日本海気候に属するが、四季の変化が実感できる比較的温暖な気候。 年間を通して、非常に快晴の日が少なく、くもり、雨の多い地域。
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口200,089人。世帯数75,892世帯（平成19年12月末） 合併した9市町村のうち、鳥取市は全国よりも高い水準で増加しているが、佐治町、青谷町、用瀬町、河原町では減少傾向が続いている。 人口は、平成27年をピークに、その後ゆるやかに減少していく見込み。
産業	<ul style="list-style-type: none"> 産業動態は、産業人口の推移から、第1次産業の就業人口の減少傾向と、第3次産業の増加傾向が見られる。高齢化、後継者不足が一層進展している。 第3次産業では、「サービス業」（鹿野町・鳥取市（合併前）・国府町）、「卸売・小売業・飲食店」（鳥取市（合併前））の割合が高い。
農業・林業	<ul style="list-style-type: none"> 特産品・・・二十世紀梨、砂丘らっきょう、長いも等。 農業人口は専業農家、兼業農家とも、年々減少傾向にある。 農業生産額は、農畜産物の輸入自由化、高齢化による耕作放棄地の増加により、減少傾向。 森林種別では、天然林と人工林が半々となっている。
漁業	<ul style="list-style-type: none"> 特産品・・・松葉ガニ・イカ 60歳以上の高齢な漁業就業者の割合が増加し、後継者不足が深刻化していくものと考えられる。 専業、兼業どちらの経営体数においても、大幅な減少傾向が見られる。

工業	<ul style="list-style-type: none"> 山陰随一・中国地方有数の工業都市。 電気機械工業を中心とした製造業が盛んで、製品出荷額の約8割を電気機械器具製造業で占める。 近年の海外への工場進出や景気低迷により厳しい状況であるが、引き続き、情報関連産業の進展などにより、出荷額は増加していくと予測される。
商業	<ul style="list-style-type: none"> 商品販売額は、ライフスタイルの変化、郊外型大型店舗の進出など、購買範囲や形態は変化しているが、交通網の整備、モータリゼーションの進展により、緩やかに増加していくと予測される。 大量量販店の台頭、空家・空地の増加などにより、中心市街地商店街の空洞化が顕著。
交通	<ul style="list-style-type: none"> 交通網整備は、鳥取空港完成、智頭線開通により首都圏および近畿圏とのアクセスが短縮された。
	<p>道路交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路交通体系は、米子、京都を結ぶ国道9号線（日本海側）と、鳥取市と智頭、姫路を南北に結ぶ国道29号線、53号線が放射状に伸びる形で構成。 30分以内で高速道路に接続できる人口は県人口の41%で、全国で最低水準。 高速自動車道として、鳥取自動車道が、平成21年度開通を目指し整備が進められている。
	<p>鉄道・バス路線</p> <ul style="list-style-type: none"> JR鳥取駅はJR山陰本線と、JR因美線、智頭急行智頭線の特急スーパーはくとの結節点であり、県内外からのアクセス拠点である。 スーパーはくと・・・1日7往復、鳥取～大阪間を2時間20分程度で運行。 日ノ丸バス、日交バスの鳥取県東部一般路線の利用客数は減少傾向。 大阪・神戸と鳥取を結ぶ高速バスの利用客数は、年々増加傾向にある。 観光名所を結ぶループ麒麟獅子バス、市内100円バスの整備に努めている。
	<p>航空路線</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取空港は、鳥取市街地から北西約7km、砂丘地帯に位置する。 現在、東京便が1日4便運航。近年は中国・台湾便など国際チャーター便も運用され、利用の拡大を図っている。 乗降客数は一時減少したが、年間平均約34万人の利用がある。
観光	<ul style="list-style-type: none"> 中国・近畿地方からの観光客が多く、自家用車を移動手段として、日帰り旅行での観光が多い。 鳥取砂丘・いなば温泉郷の観光名所としての知名度が高く、鳥取温泉、吉岡温泉、浜村温泉、鹿野温泉の利用も観光資源として挙げられる。 市街地には、鳥取城跡、仁風閣、樗谿公園、県立博物館、やまびこ館、観音院庭園等、文化財、文化施設が集積している。 鳥取砂丘こどもの国、わらべ館、白兔海水浴場など、家族で楽しめる施設の集客力が高い。 観光客動員数の高いイベントとして、鳥取三十二万石お城まつり（4月）、市民納涼花火大会・鳥取しゃんしゃん祭り（8月）、鳥取砂丘イリュージョン（12～1月）が挙げられる。
都市計画	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取都市計画では、鳥取都市計画区域は、西は湖山池西岸付近、東は国府町までとなっている。 都市計画区域内では、市街化区域は、中心市街地を中心に、北は千代川河口、西は湖山池東岸まで、東は面影山、南は若葉台地区あたりまでとなっている。 鳥取市都市計画マスタープランでは、市街地（コンパクトゾーン）と田園地域（ガーデンゾーン）が融合した「新・生活交流都市（ハーモニーシティ）」を目指している。
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園数は、138箇所（平成18年）。久松山（歴史公園）、樗谿公園（風致公園）、布勢総合運動公園（広域公園）、湖山池公園（総合公園）として指定されている。 鳥取砂丘は、国の天然記念物及び、国立公園の特別保護区に指定されている。

参照）2007 鳥取市勢要覧・鳥取市第8次総合計画

◇鳥取市歴史年表

	元 号	西 暦	で き ご と	
古 代			「鳥取部」と呼ばれる人々が住む（新修鳥取市史による）	
			因幡国庁が置かれる	
中 世	天文 14	1545	この頃久松山に支城が築かれる	
	天正元	1573	山名豊国 天神山城より鳥取城に移る。	
	天正 9	1581	吉川経家の籠城する鳥取城 羽柴秀吉により落城	
江 戸	慶長 5	1600	池田長吉、鳥取城主となる	
	元和 3	1617	池田光政、姫路より移封。因幡・伯耆 32 万石を領地とする。	
	寛永 9	1632	池田光仲、岡山より光政と交替で入封。（鳥取池田家初代）	
	享保 15	1730	他国商人の鳥取城下町への入込を禁ずる	
	宝暦 8	1758	筆頭庄屋の設置など、農政改革が行われる	
	寛政 4	1792	町方に旧里帰農令が出される	
	安政 2	1855	安政の在方改革が着手される	
	慶応 3	1867	池田慶徳 大政奉還（12代）	
明 治	明治 2	1869	版籍奉還	
	4	1871	廃藩置県	
	22	1889	鳥取市、市制施行（面積 6.61 平方km、人口 27,898 人）	
	23	1890	旧鳥取藩主池田家、久松山鳥取城跡を、遺跡保存と水源涵養のために取得	
	29	1896	陸軍第四十連隊本部設置	
	40	1907	鳥取市会、上水道敷設の建議案を可決 皇太子山陰行啓にあわせ古海に仮駅が開かれる。仁風閣完成。	
	41	1908	鳥取停車場に初めて列車が入る	
大 正	大正元	1912	千代川氾濫による大洪水（その後大正 2, 7, 12 年にも大洪水）	
	2	1913	美歎水源地、起工	
	4	1915	美歎水源地、竣工	
	5	1916	鳥取市水道布設工事完了	
	7	1918	洪水のため美歎水源地決壊	
	8	1919	因美線鳥取-用瀬間開通	
	11	1922	美歎水源地、復旧工事完了	
	12	1923	富桑村、鳥取市に合併・智頭線開通（鳥取・智頭間） 上町長田山配水池構内に記功碑を建立。	
	13	1924	千代川改修工事が国の直轄事業として決定	
	昭 和	昭和 3	1928	新袋川工事に着工。鳥取市、京都帝国大学名誉教授大藤高彦を顧問に嘱託。 都市計画法適用が鳥取市議会で可決され、内務大臣に申請。 鳥取市、都市計画法施行指定の勅令を受ける
		4	1929	鳥取市、都市計画区域を決定
				禰谷公園、完成
				久松公園が整備され、久松山頂に一般市民が登ることができるようになる 美歎水源地 5 号濾過池増設完了
5		1930	千代川の大改修完成。八千代橋竣工。	

	年 号	西 暦	で き ご と
昭 和	昭和 5	1930	鳥取市、当初計画より賀露・湖山・松保を除いた計画区域を認可され、
			都市計画区域が決定
			若桜線開通。郡是製紙の今町棒鼻への工場設営が決定。 四百五十坪を残して薬研堀の無償交付が内定
	6	1931	薬研堀埋立工事開始（昭和 8 年竣工）
	7	1932	稲葉村、鳥取市に合併。因美線、津山まで開通。
			千代橋竣工。天神川改修工事着工（9 年竣工）。 新千代川通水
	8	1933	美保村・中ノ郷村、鳥取市に合併。鳥取市街路網計画が決定。
			鳥取市、上水道配水池を増設。
	9	1934	新袋川通水。国安に第二水源地を設置
	11	1936	気高郡賀露村、都市計画区域に追加
	12	1937	鳥取市、街路計画を一部実施。鳥取市、6ヶ年計画で都市計画の実施に着手。
			賀露村、鳥取市に合併
	13	1938	鳥取市、市制施行 50 周年
	18	1943	鳥取大地震（M7.3 死者 1,025 人）
			鳥取大震災復興の要領が決定され 18-19 年度に震災復興事業が実施される
	25	1950	叶に第三水源地を設置
	27	1952	鳥取市大火災（焼失面積 1.6 平方km、被災者 20,415 人、焼失家屋 5,228 戸）
			火災復興計画が立案される。耐火建築促進法の適用を全国に先駆けて受ける。 第一次適用地域は若狭街道両側約 1500m。
	28	1953	15ヶ村合併・市の行政基盤固まる（人口 6 万 3 千人から 9 万 9 千人へ）
	30	1955	鳥取砂丘、天然記念物に指定・国立公園に指定（昭 33）
38	1963	国安水源地廃止	
53	1978	美歎水源地休止	
60	1985	第 40 回わかとり国体開催。鳥取南バイパス、駅南広場完成。	
63	1988	人口 14 万人突破・流しびなの館開館	
平 成	平成元	1989	市制施行 100 周年・' 89 鳥取世界おもちゃ博覧会開催
	2	1990	鳥取港全面供用開始
	5	1993	美歎水源地廃止
	6	1994	智頭線開通 特急スーパーはくと運行
			因幡万葉歴史館・河原町お城山展望台、さじアストロパーク開館
	7	1995	鳥取世界おもちゃ館開館・「日本の渚・百選」に白兔海岸・鳥取砂丘が選定
	10	1998	観光ループバス「ループ麒麟獅子」を運行・水道局庁舎新築移転
	12	2000	人口 15 万都市に成長・鳥取市歴史博物館「やまびこ館」開館
	15	2003	個人情報保護制度開始・市民活動推進センター「アクティブとっとり」開館
	16	2004	国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町、青谷町との
市町村合併により人口 20 万人を超える新「鳥取市」が誕生 市駅南庁舎開庁			
17	2005	特例市に移行・駅南庁舎に市中央図書館が移転開館	
19	2007	「旧美歎水源地水道施設」が、国の重要文化財に指定される。	

参照) 2007 鳥取市勢要覧・鳥取市第 8 次総合計画

◇鳥取市主要文化財（国指定文化財）

指定種別	名 称	所在地	指定年
史 跡	鳥取城跡附太閤ヶ平	東町、栗谷町、百谷、円護寺	昭 3 2
	布勢古墳	布勢	昭 4 9
	梶山古墳	国府町岡益	昭 5 4
	栃本廃寺跡	国府町栃本	昭 1 0
	因幡国庁跡	国府町中郷	昭 5 3
	伊福吉部徳足比売墓跡	国府町宮下	大 1 3
	鳥取藩主池田家墓所	国府町宮下、奥谷	昭 5 6
青谷上寺地遺跡	青谷町青谷	平 2 0	
名 勝	観音院庭園	上町	昭 1 2
天然記念物	キマダラルリツバメチヨウ生息地	長田神社、興禅寺、樗谿公園	昭 9
	ハマナス自生南限地帯	白兔	大 1 1
	倉田八幡宮社叢	馬場	昭 9
	大野見宿禰命神社社叢	徳尾	昭 9
	白兔神社社叢	白兔	昭 1 2
	松上神社のサカキ樹林	松上	昭 1 9
	鳥取砂丘	浜坂、福部町湯山	昭 3 0
重要文化財	樗谿神社本殿・唐門・拝殿及び幣殿	上町 樗谿神社	昭 2 7
	仁風閣	東町	昭 4 8
	福田家住宅	紙子谷	昭 4 9
	絹本著色普賢十羅刹女像	行徳 常忍寺	明 3 7
	梵鐘	寺町 本願寺	昭 5 7
	子持勾玉	東町 県立博物館	昭 3 8
	紙本金字法華経巻第二、第四	立川町 大雲院	昭 1 7
	木造薬師如来及び両脇侍坐像	国府町松尾 学行院	大 元
	木造吉祥天立像	国府町松尾 学行院	大 元
	旧美歎水源地水道施設	国府町美歎、上町	平 1 9
栗谷遺跡出土品	福部町湯山 福部歴史資料館	平 6	
重要美術品	埴輪鹿 脚部修補／埴輪男子像 残闕	湖山町 鳥取大学	昭 1 0
	袈裟襷文銅鐸	東町 県立博物館	昭 9
	家屋形弥生式土器 下部欠失	東町 県立博物館	昭 1 0
無形民俗文化財	因幡の菖蒲綱引き	気高町宝木	昭 6 2
	因幡の菖蒲綱引き	気高町水尻	昭 6 2
	因幡の菖蒲綱引き	青谷町青谷	昭 6 2
	酒津のトンドウ	気高町酒津	平 1 9